

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 大気環境課
 担当名: 企画・監視担当
 内線: 3054

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B9	大気汚染常時監視事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	青空再生推進費	
事業期間	昭和42年度～	根拠法令	大気汚染防止法 埼玉県環境基本条例 埼玉県生活環境保全条例	埼玉県生活環境	針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	3, 11, 12
					分野施策	1007	公害のない安全な地域環境の確保	SDGsターゲット	3-9, 11-6, 12-4
1 事業の概要			5 事業説明						
大気汚染防止法第22条に基づく大気汚染常時監視を実施するため、自動測定機、局舎、常時監視システムを適切に運用する。 また、測定結果をもとにシステムで光化学スモッグ注意報やPM2.5注意喚起等の発信を行う。			(1) 事業内容 ア 自動測定機等の整備(通年) 60,790千円 → 57,205千円 自動測定機等の修繕及び更新、廃自動測定機等の処分 イ 大気汚染状況の測定(通年) 116,752千円 → 104,532千円 自動測定機等の保守、PM2.5の成分分析 ウ 大気汚染緊急時対策(4月～9月) 3,989千円 → 3,769千円 注意報等の発令、光化学スモッグ発生予測等 エ 常時監視システムの運用(通年) 46,200千円 常時監視システムの運用						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)			(2) 事業計画 ア 県が設置した46局において、耐用年数が超過した自動測定機等の更新を順次実施する。 イ 自動測定機の保守や緊急時対策については、引き続き実施する。						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等			(3) 事業効果 ア 環境基準の達成状況の評価、環境基本計画等の各種施策の進捗状況の把握、新たな施策の策定に活用することができる。 イ 光化学スモッグ注意報等やPM2.5注意喚起情報を情報発信することで、県民に対して健康被害を未然に防止する行動を促す。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 政令市等の測定結果は県が取りまとめ、国への報告や県民への情報提供を行っている。 (5) 補正予算の概要 ア 委託料及び備品購入費の契約差金発生に伴う減額。△12,091千円 イ 経費節減による減額。△3,934千円						
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△16,025	県債						△16,025	211,706
現計額	227,731	17,000						210,731	

事業内訳書

事業名	大気汚染常時監視事業費		
単位事業名	自動測定機等の整備	予算額	△ 3,585千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△142	—	契約差金発生に伴う減
備品購入費	△3,443	—	契約差金発生に伴う減
合計	△3,585	—	

単位事業名	大気汚染状況の測定	予算額	△ 12,220千円
-------	-----------	-----	------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△12	—	経費節減による減
需用費	△2,685	—	経費節減による減
役務費	△1,237	—	経費節減による減
委託料	△8,286	—	契約差金発生に伴う減
合計	△12,220	—	

単位事業名	大気汚染緊急時対策	予算額	△ 220千円
-------	-----------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△220	—	契約差金発生に伴う減
合計	△220	—	